



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月5日

上場会社名 株式会社 キング 上場取引所 東  
 コード番号 8118 URL http://www.king-group.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長島 希吉  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理統轄 (氏名) 石井 修二 TEL 03(5434)7282  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,364	2.0	625	△9.4	667	△8.3	441	△10.1
2019年3月期第2四半期	5,256	△7.5	690	0.3	728	△0.5	490	△0.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 454百万円 (△15.7%) 2019年3月期第2四半期 539百万円 (△7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	24.18	-
2019年3月期第2四半期	26.27	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	24,461	21,143	86.4
2019年3月期	24,554	21,053	85.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 21,143百万円 2019年3月期 21,053百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2020年3月期	-	0.00	-	-	-
2020年3月期（予想）	-	-	-	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	1.3	1,450	2.6	1,520	2.6	1,000	0.3	54.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	24,771,561株	2019年3月期	24,771,561株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	6,536,108株	2019年3月期	6,536,108株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	18,235,453株	2019年3月期2Q	18,671,353株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しましたが、海外経済の不確実性に加え、消費増税後の国内消費の落ち込みへの懸念などにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当アパレル・ファッション業界におきましても、衣料品全体に対する購買意欲が低下しているなか、長引く猛暑や台風などの天候不順による影響も相俟って、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、お客様にご納得いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、「上質＝プレミアム」に強くこだわり、付加価値の高い商品力を徹底追求し、高品質・高感度な商品づくりに引き続き注力すると共に、ブランド構成を拡充した複合ブランドショップ開発、店頭運営力の更なる向上、生産管理機能の一層の強化、経費の効率使用に努めてまいりました。

その結果、売上高は前年同期比2.0%増加の53億64百万円、営業利益は前年同期比9.4%減少の6億25百万円、経常利益は前年同期比8.3%減少の6億67百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比10.1%減少の4億41百万円となりました。

事業セグメント別の状況は以下の通りであります。

## (アパレル事業)

「強い商品が全てに優先する」ことをアパレル事業における揺るがない基軸として、企画部門では「上質＝プレミアム」に強くこだわり、高品質・高感度な「ものづくり」を目指して、上質で複雑性のある差別化された素材開発の強化、店頭活性化に向けた企画発信のプロモーションの強化、生産管理機能の強化等に取り組みました。

営業部門では「売上高の拡大」を最重要課題として、ブランド構成のバリエーションを拡充した複合ブランドショップ等の新規開発の強化を推進すると共に、既存ショップの売上拡大に向けては、展開ブランドの拡充や前期に導入したスマートフォン対応アプリによるお客様と店頭との情報交換の強化、消費増税前に向けたブランド周年イベントやプロモーションの強化等、店頭運営力の更なる強化に努めてまいりました。

その結果、売上高は前年同期比2.7%増加の44億98百万円となりましたが、新規開発によって経費が先行したこと等により、営業利益は前年同期比18.6%減少の2億87百万円となりました。

## (テキスタイル事業)

テキスタイルのプロフェッショナルとして自己完結型ビジネススタイルの更なる進化を目指すと共に、既存主力先の深耕化、次期主力先の開発強化、次世代人材の育成に引き続き取り組みました。

また、「ヴィンテージコレクション」を中心とした意匠力の強化や素材・加工方法の開発推進、提案力向上にも注力し、企画提案型テキスタイルコンバーターとしての競争力の強化に努めました。

しかしながら、アパレル業界全体の苦戦が続いていることもあり、売上高は前年同期比2.1%減少の5億20百万円、営業利益は前年同期比17.1%増加の53百万円となりました。

## (エステート事業)

東京・京都・大阪の各不動産に係る賃貸事業につきましては、引き続き資産の有効活用に努めました。

その結果、売上高は前年同期比0.1%増加の3億45百万円、営業利益は前年同期比0.3%増加の2億87百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債、及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は244億61百万円となり、前連結会計年度末比92百万円の減少となりました。

流動資産は131億95百万円となり、前連結会計年度末比5百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少と商品の増加によるものであります。また、固定資産は112億66百万円となり、前連結会計年度末比98百万円減少いたしました。これは主に、無形固定資産及び繰延税金資産の減少によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は33億18百万円となり、前連結会計年度末比1億82百万円の減少となりました。

流動負債の残高は21億94百万円となり、前連結会計年度末比2億66百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等及び賞与引当金の減少によるものであります。また、固定負債は11億23百万円となり、前連結会計年度末比83百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は211億43百万円となり、前連結会計年度末比89百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は、86.4%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ、1百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末の残高は89億31百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、5億9百万円増加(前年同四半期は2億98百万円増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、1億63百万円減少(前年同四半期は89百万円減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、3億44百万円減少(前年同四半期は3億73百万円減少)となりました。これは、配当金の支払による支出によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想は概ね予想通りに推移しており、現時点においては、2019年5月7日に発表いたしました業績予想の変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,929	9,931
受取手形及び売掛金	1,263	1,127
商品	1,834	1,974
原材料及び貯蔵品	51	38
その他	114	127
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	13,189	13,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,939	1,919
土地	6,474	6,480
その他(純額)	283	276
有形固定資産合計	8,697	8,676
無形固定資産	395	351
投資その他の資産		
投資有価証券	1,381	1,402
長期貸付金	5	5
繰延税金資産	77	23
差入保証金	586	580
その他	231	237
貸倒引当金	△11	△10
投資その他の資産合計	2,272	2,238
固定資産合計	11,365	11,266
資産合計	24,554	24,461

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	897	976
短期借入金	380	380
1年内返済予定の長期借入金	30	-
未払法人税等	324	163
賞与引当金	248	135
役員賞与引当金	25	10
その他	553	529
流動負債合計	2,460	2,194
固定負債		
長期借入金	-	50
退職給付に係る負債	180	175
資産除去債務	118	124
長期未払金	167	167
その他	574	605
固定負債合計	1,040	1,123
負債合計	3,501	3,318
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	12,367	12,444
自己株式	△2,142	△2,142
株主資本合計	20,698	20,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	353	367
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	354	368
純資産合計	21,053	21,143
負債純資産合計	24,554	24,461

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	5,256	5,364
売上原価	2,252	2,355
売上総利益	3,004	3,008
販売費及び一般管理費	2,313	2,383
営業利益	690	625
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	22	22
仕入割引	11	10
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	3	6
営業外収益合計	41	44
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	2	0
営業外費用合計	3	2
経常利益	728	667
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	7	14
特別損失合計	7	14
税金等調整前四半期純利益	720	652
法人税、住民税及び事業税	165	163
法人税等調整額	64	48
法人税等合計	229	211
四半期純利益	490	441
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	490	441
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	13
退職給付に係る調整額	△2	△0
その他の包括利益合計	49	13
四半期包括利益	539	454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	539	454
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	720	652
減価償却費	168	192
その他の償却額	4	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△149	△113
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20	△15
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6	△4
受取利息及び受取配当金	△26	△26
支払利息	1	1
固定資産売却損益(△は益)	△0	-
固定資産除却損	7	14
売上債権の増減額(△は増加)	248	136
たな卸資産の増減額(△は増加)	△183	△127
仕入債務の増減額(△は減少)	△39	78
その他	△103	11
小計	624	803
利息及び配当金の受取額	26	26
利息の支払額	△1	△2
法人税等の支払額	△350	△318
営業活動によるキャッシュ・フロー	298	509
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,000	△1,000
定期預金の払戻による収入	1,000	1,000
有形固定資産の取得による支出	△101	△162
有形固定資産の売却による収入	3	-
無形固定資産の取得による支出	△0	△5
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	1	1
差入保証金の差入による支出	△20	△16
差入保証金の回収による収入	30	21
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89	△163
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	-	△30
長期借入れによる収入	-	50
配当金の支払額	△373	△364
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373	△344
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△164	1
現金及び現金同等物の期首残高	8,589	8,929
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,424	8,931

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結会計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月7日 取締役会	普通株式	373	20	2018年3月31日	2018年6月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月7日 取締役会	普通株式	364	20	2019年3月31日	2019年6月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,380	531	345	5,256	-	5,256
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	21	15	-	37	△37	-
計	4,401	547	345	5,294	△37	5,256
セグメント利益	353	45	286	685	4	690

(注) 1. セグメント利益の調整額4百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用3百万円が含まれております。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,498	520	345	5,364	-	5,364
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	14	19	-	34	△34	-
計	4,513	540	345	5,398	△34	5,364
セグメント利益	287	53	287	628	△2	625

(注) 1. セグメント利益の調整額△2百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3百万円が含まれております。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。